



野庭すずかけ小だより

7月号

横浜市立野庭すずかけ小学校
2026(令和8)年6月30日
TEL 842-3105

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nobasuzukake/>

いろんな時期があるからね

校長 船山 道太

日頃より、保護者、地域の皆様から、愛のある言葉をいただく。そのおかげで、私たち教職員は、どれだけ後押しされていることか。感謝しかありません。今年は、大幅な学級減でのスタート。そんななか、「たいへんではないですか」と気にかけてくださる。そんな気遣いをいただくと、もう何とかお返ししないと、と思う。もらうと、返したくなる。

職員の数は、減りはしたものの、ありがたいことに、職員みな元気に、子どもたちの支援にあたることができている。そして、「すずかけ応援隊」(引き続き、募集中)をはじめとするボランティアの存在がある。地域、保護者、大学生の皆様に、教職員は支えられ、子どもたちの生活・学習を支援していただいている。そして、子どもたちは、うまくいかないこともあるなか、日々新しいことに挑戦し、がんばっている。そういう子どもたちには支援がついてくる。ここは、なんて素敵なところなんだろう。

たくさんの人の愛で、未来を明るく照らす。単級になった学年の子どもたちも、これまで通り単級で過ごし続けている子どもたちも、毎日、いろんなことがあるなかで、よくがんばっている。がんばりすぎなくてもいいですよ。あなたも、わたしも、それぞれが、そのまま、十分。

6月と11月は、いじめの件数が、増えるという傾向がある。この時期は、日照時間が変わる時期にあり、ホルモンのバランスが大きく変わる時期といわれる。6月は、雨の日が多い。いやなものはいや、普段は気にかけないささいなことでも心配になったり、理由もないのに不安になったりすることも増える。「人間だもの。そういう時期もあるんだな」と知っておくのもいいかもしれない。この時期には、学校ではあえて、仲間意識を不必要に高めすぎないということも考える。それぞれ、まちがはなく、がんばっている。だから、まずは、自分のことを大事にするんだよ、それから、とにかくたくさん寝ようね、早く休もうねと、子どもたちに伝えている。それぞれの事情があるので、可能であればです。

6年生は、東京見学に、三殿台遺跡見学と校外学習。とにかく、楽しい。なんでだろう。子どもたちの発する言葉、やりとり、動きなど、楽しい気持ちを引き出してくる。彼らの単級で培った柔軟性も大いに発揮されているのだろうか。彼ら彼女らは、自分で自分の機嫌をとれるのかもしれない。

3年生は、海の公園遠足に出かけた。とにかく、しっかりしている。道の歩き方が上手で驚かされる。砂浜のレクは、子どもたちが運営して、みなぎ協力して活動している。エスカレーターがあっても、ひたすら階段を選んで歩き切った。予定のほとんどが、早め早めに進んでいく。お弁当のあとは、ごみ一つ落ちていない。お弁当のご準備、ありがとうございました。

全ての学年のようすをお伝えするのに、紙面が少ない。6月も、いろんなことがありました。これらは、成長の糧。なんらかの意味があるのだろう。そのときときには、分からないかもしれない。だから、毎日がんばっている自分を、「えらいね」って、ほめて、お休みなさい。それから、今日も、たくさんの人にありがとうございます。

自分たちでは気づかないよさが、海外の人々の目にとまる。ちがっておもしろい。そんないろんな人たちが、遠くに近くに、ともに生きていて、この体でもって今、いろんな経験ができる。とっても幸せなことなのだと思う。いろんな時期・季節があります。太陽が恋しい。太陽の光をいっぱい浴びて、この夏をお迎えするとともに、皆様の健康を心より願っています。